

【はじめに】

はじめまして。芸術文化学科の大木泉水です。イタリアのボローニャ大学に留学しています。来年の夏まで、月例報告書を通して自らの振り返りとイタリアでの生活を紹介します。

【出発～諸手続き】

8 月 29 日夜に出国、トルコを経由して 8 月 30 日午前ボローニャに到着しました。家の管理会社の人と約束した場所に時間通りに到着しましたが、30 分過ぎても来ません。Wi-Fi もないのでスマートフォンも使えない、両手に 23 キロのスーツケース二つ、10 キロのリュックを背負い、30°C を超える土地勘のない街中を 2 時間さまよいました。なんとか家に入り、管理会社で鍵を預かり、SIM カードや食料を手に入れ、とても長い 1 日でした。

到着後の手続きは忙しく、翌日からは個人に与えられる Fiscal Code を取得しに行くなどしました。語学学校のテストや大学のチェックインをオンラインで受け、学生証を発行し、滞在許可申請に必要な書類を揃えました。翌朝は滞在許可申請を済ませるために 3 か所を移動しました。到着後はずっとバタバタしていましたが、街中の景色や文化に興奮させられ、留学が叶ったことで胸がいっぱいでした。また、SUAC の留学生と合流してジェラートを食べながら不安や楽しみを共有する時間は、心を切り替えるのに重要な時間でした。不安はあっても、ここで 1 年間全力で勉強して全力で楽しむということを誓い合いました。

【大学・語学学校】

第 2 週目から 9 月末まで、プライベートの語学学校に通いました。先生は理解するまで言葉を言い回して教えてくれます。生徒は多国籍で学生から大人の方まで幅広く、対等にコミュニケーションをとれるので楽しいです。授業は 1 日 4 時間で、毎日みんなでバールにてコーヒーブレイクをします。イタリア語で、もっと自分から話題を振ったり相手のことや他国の文化を聞き取ったりできるようになりたいです。

大学の講義は第 4 週目からはじまりました。現在履修している講義はすべて英語で進められています。先生の言っていることが理解できたとしても予備知識がないと自分の意見や感想を持つことができないので、これからの課題です。他国の学生は、明るくて積極的で失敗を恐れずに何回も先生に質問します。日本人の学生との大きな違いだと感じています。

【生活】

私は街の中心（チェントロ）にあるシェアリングアパートメントに住んでいます。フランス人の女の子と同部屋で、他に6人のイタリア人と生活しています。ここでも英語とイタリア語で会話を使うため混乱してしまいましたが、基本皆優しいです。共有するモノや場所の使い方など、最初はカルチャーショックを受けることもありましたが、“When in Rome, do as the romans do”（郷に入れば郷に従え）だと考えて生活に慣れてきました。

【ボローニャについて】

ボローニャは、イタリアの中でも特に美食の街だと言われています。日本でもボロネーゼとして親しまれている、ミートソースを使ったスパゲッティやラザニアがとくに有名です。イタリアにきてから頻繁にジェラートを食べるようになりました。街のいたるところにジェラートのお店があってたくさんの種類の味があります。私は lamponi（ラズベリー）と tiramisu（ティラミス）のジェラートが好きです。他の都市に比べてボローニャの街自体は大きくありませんが、多くの学生が住んでいて広場にはいつも多くの人が集まっています。



ボロネーゼのラザニア



サンペトロニオ大聖堂のライティング

【10月の目標】

10月からはプライベートの語学学校は夜のコースになりますが、大学付属の語学学校が始まります。語彙を増やすのも大事ですが、アウトプットを積極的にしていきたいと思います。まだ行っていないところに出向いて、ハウスメイトや学生との交流も頑張りたいです。